

令和元年度 提起巡回・随時対応型訪問介護看護外部評価

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				外部評価					
				実施状況				コメント	実施状況				外部コメント
				できている	ほぼできている	できていないことが多い	全くできていない		できている	ほぼできている	できていないことが多い	全くできていない	
I 構造評価(Structure) 【適切な事業運営】													
(1) 理念の明確化													
①	サービスの特徴を踏まえた理念の明確化	1	当該サービスの特徴である「利用者等の在宅生活の継続」と「心身の機能の維持回復」を実現するため、事業所独自の理念を掲げている	8	4	0	0	法人、こぶし園の方針の理解、独自の理念を明確にし事業所内に掲示することで職員の意識統一を行っている。	9	5	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・事務所内に掲示するだけでなく、研修等の機会を利用し理念等を再度明示し、職員の意識が薄れないように行ってください。 ・理念は掲げるとともに、職員それぞれがより理解できるよう、唱和をするなどの工夫もあっても良いと思います。 ・会議の場でも理念を出席者に伝えていたので、来ています。 ・事業所に掲示しており良いと思います。
①	専門技術の向上のための取り組み	2	管理者と職員は、当該サービスの特徴および事業所の理念について、その内容を十分に認識している	6	6	0	0	定期随時の特徴や事業所の理念を認識しており、理念に沿った援助を行うよう再認識をしながら業務の遂行に努めている。	7	7	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・理念に沿った援助を行うよう、どのように再認識し、どのように評価をしているのでしょうか。 ・定期随時サービスの特徴を生かした支援を行い、理念が職員に浸透していると感じた。
		3	運営者は、専門技術(アセスメント、随時対応時のオペレーターの判断能力など)の向上のため、職員を育成するための具体的な仕組みの構築や、法人内外の研修を受ける機会等を確保している	3	8	1	0	日々の申し送りや定期的なミーティングを通し、オペレーターの判断能力の向上に努めている。尚、オペレーターは経験を重ねることで向上するが、判断に困るようなことは助言を求めるようにしている。個人研修を各自で選択し積極的な研修参加に結び付けるようにしている。	2	12	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・研修の評価をしっかりと行い、質の向上に努めてください。 ・研修参加後の報告会はありますか。経験を重ねる以外にスキルアップにつながる為の取り組みがあれば教えてください。管理者との面接はありますか。 ・オペレーターの研修は行っていますか。 ・研修計画があるので、大丈夫です。 ・オペレーターが判断に困る時は誰に助言を求められるのでしょうか。 ・研修内容、状況(参加)が見えないため、評価しにくい所があります。 ・ヘルパー間でも研修をしており、確保していると思う。 ・個人研修には具体的にどのようなものがありますか。 ・今後も職員の判断能力向上のために努力して行って欲しい。

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				外部評価					
				実施状況				コメント	実施状況				外部コメント
				できている	ほぼできている	できていない ことが多い	全くできていない		できている	ほぼできている	できていない ことが多い	全くできていない	
I 構造評価(Structure) [適切な事業運営]													
(2) 適正な人材の育成													
①	専門技術の向上のための取り組み	4	管理者は、サービス提供時の職員の配置等を検討する際、職員の能力が最大限に発揮され、能力開発が促されるよう配慮している	2	10	0	0	職員の能力、特性がはっきできるように配慮されており、不足部分は職員間の話し合いや同行訪問による援助で学べるようにしている。	1	13	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の今ぜんざいある能力、特性だけでなく、不足の部分について研修等実施するなどして、職員全体が同一レベルでケアを提供できるようにしてください。 ・同じ介護技術でも利用者の体形や疾患、生活環境によって提供する技術が異なると思います。個別の伝達の他、失敗からも学ぶ、振り返りの機会を活用したらいかがでしょうか。 ・職員に細かい配慮がされていると思う。 ・個々の能力に合った支援を組んでいると思う。 ・個々の職員の能力が向上するよう配慮され、研修会に参加することで介護上の向上に努めていってほしいです。
②	介護職・看護職間の相互理解を深めるための機会の確保	5	介護職・看護職の間で、利用者等の特性・状況に係る相互の理解・認識の共有のための機会が、十分に確保されている	4	8	0	0	タブレット活用にて相互理解はなされている。また、フェニックスネットを通して情報共有され、多職種との連携をすることで対応が調整されている。	1	13	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・タブレット活用だけでは不足がありますので、タブレットに入力してら良いではなく、早急に対応が必要な場合は電話等で連絡・報告・相談してください。 ・タブレットのICTを利用した連携以外で、介護職、看護職との連携に有効だと感じる事はありますか。 ・タブレットお通し共有できていると思います。 ・法人内の訪問看護師等とカンファレンスを持ったり、フェニックスネットを活用し情報共有されています。 ・大丈夫だと思います。 ・タブレット以外にも連絡を行い、共有が出来ていると思う。 ・情報の共有、理解が図られていると感じました。

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				外部評価					
				実施状況				コメント	実施状況				外部コメント
				できている	ほぼできている	できていない ことが多い	全くできていない		できている	ほぼできている	できていない ことが多い	全くできていない	
I 構造評価(Structure) 【適切な事業運営】													
(2) 適正な人材の育成													
①	組織マネジメントの取り組み	6	利用者等の特性に応じた柔軟なサービスを提供するため、最適且つ柔軟な人材配置(業務・シフトの工夫)を行っている	5	7	0	0	利用者や家族の意向を取り入れ、柔軟なサービス提供に努められるように職員配置をしている。	3	11	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・少ない職員配置の中、利用者様の状態に合わせて臨機応変に対応されていると思います。 ・どのような意向が多いのか具体例を効けるとありがたいです。 ・シフトを組む際の苦勞があると思いますが、訪問忘れ等が無いようによろしくお願い致します。 ・訪問時間帯に合わせて勤務表を工夫して配置していると思う。 ・シフトは限られた職員の中で、柔軟な対応をしている。 ・その方に応じたサービスを柔軟に組んでいると思います。
②	介護・医療連携推進会議で得られた意見等の適切な反映	7	介護・医療連携推進会議を適時適切に開催すると共に、得られた要望、助言等(サービスの過少供給に対する指摘、改善策の提案等)を、サービスの提供等に適切に反映させている	3	9	0	0	得られた要望や助言等、サービス提供の参考になることがあり反映できるよう努めている。	2	12	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・要望や助言が具体的にどう生かされているのか香、もつとわかるとありがたいです。 ・他事業所にも共通していますが、参加者以外は内容をよく理解していない事があるようです。どのように周知していくか、会議の内容を反映させサービスを向上させるためにどのような取り組みが効果的か工夫されると良いかと思います。 ・得られた要望や助言等をスタッフへどのように伝え、生かされているか評価されると良いと思います。 ・外部からはわかりにくいです。開放などがあるといいのですが。 ・きちんと意見を反映されていると思います。 ・なかなか会議に出席できず申し若ありません。 ・回数が少なくなった分、どのように要望や助言を反映していくかは課題と思う。 ・サービスの提供時に役立てていると思います。

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				外部評価					
				実施状況				実施状況					
				できている	ほぼできている	できていない ことが多い	全くできていない	できている	ほぼできている	できていない ことが多い	全くできていない		
コメント				外部コメント									
I 構造評価(Structure) [適切な事業運営]													
(4) 適切な情報提供・共有のための基盤整備													
①	利用者等の状況に係る情報の 随時更新・共有 のための環境 整備	8	利用者等の状況について、(個人情報管理に配慮した上で)必要に応じて関係者間で迅速に共有できるよう工夫されている	7	5	0	0	タブレットにて共有できるようになっている。尚、急を要する場合など電話で直接連絡を取っている。	7	7	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・タブレットに頼り過ぎないように、他事業所と普段から顔が見える関係作りを行ってください。 ・タブレットの活用がいいと思います。 ・フェニックスネットを活用して共有されています。 ・変化あり、異常ありのチェックがあり、他サービスも見やすいようになっています。 ・タブレットを活用して行ってください。 ・利用者の状況を把握し、適切なサービスを行っていると思います。
(5) 安全管理の徹底													
①	職員の安全管理	9	サービス提供に係る職員の安全確保や災害時の緊急体制の構築等のため、事業所においてその具体的な対策が講じられている(交通安全、夜間訪問時の防犯対策、災害時対応等)	3	9	0	0	災害時マニュアルがあり、定期的に訓練に参加することで職員の意識を高めることに繋がっている。常に安全運転に心がけ、事故の発生を食い止めるよう意識している。	3	11	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・10月の台風の際は的確に安否確認が行われたと思います。 ・災害時以外の夜間などの防犯対策など具体的な取り組みがあれば教えてください。 ・訪問等で交通トラブルとかは実際ありましたか。 ・介護事業所は義務付けられているので大丈夫です。 ・昨今の気象変化において訪問系サービスを提供する皆様方の安全が最優先されると思います。緊急体制、対策に十分な対応を引き続きお願いします。 ・職員(夜間1人)の安全の為の対策を講じてください。 ・どのようにいしきずけをしているか、参考に聞きたいです。 ・事業所独自の訓練も必要と思う。ヘルパーとしてどう動くか?マニュアルから実践研修も行うと良い。
②	利用者等の個人情報の保護	10	事業所において、利用者等に係る個人情報の適切な取り扱いと保護についての具体的な工夫が講じられているとともに、管理者や職員において共有されている	7	5	0	0	個人情報ファイル等は、施錠可能な書庫に保管し取り扱いには注意している。タブレットは暗証番号によるロックをがされている。	8	6	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報盗難事案を受け、学んだ訓練が継続していかされていると思います。 ・きちんとできていると思う。 ・定期的に保管場所の確認や破棄書類等の取り扱いも確認し、意識が薄れないようにすると良い。 ・個人情報はしっかり管理していると思います。

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価				
				実施状況					実施状況				外部コメント
				できている	ほぼできている	できていない ことが多い	全くできていない		できている	ほぼできている	できていない ことが多い	全くできていない	
II 過程評価 (Process)													
1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供													
(1) 利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成													
①	利用者等の24時間の暮らし全体に着目した、介護・看護両面からのアセスメントの実施	11	利用者等の一日の生活リズムに着目した、アセスメントが提案されている	5	6	1	0	事前訪問や退院時前カンファレンスにおいて、ある程度の予定を決めて訪問提供をすることを伝えている。尚、その際は生活リズムに合わせて変更することを伝え了解いただけるように努めている。アセスメントについては、職員個々の経験上に置いて違いが生じないよう努めていきたい。	0	14	0	0	<ul style="list-style-type: none"> 少ない職員数の中、利用者の生活に合わせた訪問が提供できていると思う。特にサービスが集中する時間が負担が大きく大変だと思うが、きちんと調整されていると思います。 今後も利用者に合わせて援助に努めてほしい。
		12	介護・看護の両面からのアセスメントが適切に実施され、両者の共有、つき合わせ等が行われている	4	8	0	0	アセスメントやモニタリングについては適切に行われている。尚、アセスメントはサービス開始にあたり重要な部分の為、重要視していきたい。情報共有にフェニックスネットは有効に活用されている。	0	14	0	0	<ul style="list-style-type: none"> 看護のアセスメントがどのように生かされているのかが良く分からない。 実際のアセスメント、モニタリングの場面がわからないのですが、タブレットの共有ツールをうまく活用しながら、実際の突合せは必要だと思います。 タブレットを使い共有できている。
②	利用者の心身の機能の維持回復や在宅生活の継続に軸足を置いた「未来志向型」の計画の作成	13	利用者の心身機能の維持回復に軸足を置いた計画の作成が志向されている	4	8	0	0	在宅生活継続のために計画作成がされており、計画に基づいたサービス提供に努めている。尚、個々の状態変化に応じ柔軟な計画変更作成に心がけたい。	1	13	0	0	<ul style="list-style-type: none"> 心身機能回復に軸足を置いた計画作成は、今現在の心身機能の把握と予測される先の状態の理解が必要である。そのためには介護だけの情報だけでは理解不足となり、医療の意見も踏まえる必要があると思います。 状態の変化、気付きを大切にしていってください。

-3 -2 -1 0 1 2 3
生活介護 | | | | | | | | **看護医療**

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				外部評価					
				実施状況				コメント	実施状況				外部コメント
				できている	ほぼできている	できていない ことが多い	全くできていない		できている	ほぼできている	できていない ことが多い	全くできていない	
II 過程評価(Process)													
1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供													
(1) 利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成													
②	利用者の心身の機能の維持回復や在宅生活の継続に軸足を置いた「未来志向型」の計画の作成	14	重度化しても医療依存度を高め過ぎないよう、利用者の今後の変化を予測し、先を見越した適切なリスク管理を実現するための、「未来志向型」の計画の作成が志向されている	2	10	0	0	状態変化が生じた場合、施設入所や病院に入院を希望されるケースが多く、未来志向型の計画が難しい時がある。残存機能を使い、医療依存度を高めないような計画作成を心がけている。	4	10	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・重度化しないということは「予防」ということが重要になります。「予防」に着目したケアの提供をお願いします。 ・在宅生活に不安を感じる時もあると思います。長時間ヘルパーと一緒にいることが出来なくても安心してもらえる関わりを持つことが大切だと思います。 ・病院から退院する際に医療依存が高いと「家では無理です。どこか施設に入りたいです」などの意向がある。疾病によっても悪化しやすいものもあるため大変だろうと思います。 ・サービスを利用している本人や家族から終末期の対応(看取り含む)について要望がありますか。 ・タブレット内にケアの計画書が上がっていないため、他サービスが把握しにくい状況かとも思います。
(2) 利用者等の状況変化への柔軟な対応と計画の見直し													
①	計画上のサービス提供日時に限定されない、必要に応じた柔軟な定期巡回・随時対応サービスの提供	15	計画上のサービス提供日時以外であっても、利用者等の状況に変化が生じた場合は、必要に応じて新たに定期巡回・随時対応サービスの提供日時を設定するなど、柔軟な運営に努めている	8	4	0	0	可能な限りその時々状況に応じて、利用者や家族のニーズに柔軟な対応をしている。	11	3	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・少ない職員数の中、必要に応じ随時訪問がなされていると思う。管理者不在でも適切に随時訪問ができるということは調整能力が問われるので、管理者だけでなく、他職員も調整能力が養われると良い。 ・出来ていると思う。 ・適宜対応されていると思います。
②	継続したモニタリングを通じた利用者等の状況変化の早期把握と、計画への適宜反映	16	サービス提供を通じた、継続的なモニタリングによる、利用者等の状況変化の早期把握と、計画への適宜反映が行われている	7	5	0	0	毎月モニタリングを実施することで、状況変化の早期把握が来ている。尚、状況に応じて計画の見直しを行っている。	7	7	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・モニタリングにかかる時間も相当なものがあると思いますが、毎月丁寧に書いてあり、訪問看護としては状態把握するに役立っている。 ・月途中の状態変化時に計画の見直しは、どの程度行われているかの評価が必要だと思います。 ・毎月タブレットにて確認させていただいています。 ・計画の見直しはどのような時ですか。ヘルパーからの提案からですか。

タイトル番号	タイトル	項目番号	項目	自己評価				外部評価					
				実施状況				コメント	実施状況				外部コメント
				できている	ほぼできている	できていないことが多い	全くできていない		できている	ほぼできている	できていないことが多い	全くできていない	
II 過程評価 (Process)													
1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供													
(3) 介護職・看護職の協働による一体的なサービスの提供													
①	介護職と看護職の相互の専門性を生かした柔軟なサービスの提供	17	より効率的・効果的なサービス提供を実現するため、介護職、看護職のそれぞれの専門性を生かした役割分担が行われている	7	5	0	0	必要に応じて看護に連絡調整を行い、各職種の役割分担は遂行できている。	9	5	0	0	<ul style="list-style-type: none"> 互いの能力を十分理解し合い、役割分担は適切に行われている。 きちんと分担できていると思う。 ICT活用し情報共有が出来ていると思います。
②	看護職によるサービス提供に関する指導、助言	18	看護職から介護職に対し、疾病予防・病状の予後予測・心身の機能の維持回復などの観点から、指導、助言が行われている	7	5	0	0	利用者の状況に応じて、早急に相談し指示をもらうことで適切な対応ができる。また、予防のための助言もあり参考になっている。	8	6	0	0	<ul style="list-style-type: none"> 以前に比べ相談等が少なくなっているように思うが、それだけ利用者様が落ち着いているという事なのか。 疾病予防、病態についての学習会や県などの取り組みがありますか。 相談を受けたり、助言させていただき対応されていました。 状態が切迫している時の対応はどのようにされていますか。報告、対応、連絡を同時に行うことも有るかと思います。 指導、助言が出来ていると思います。
10													
①	利用者等に対する当該サービスの趣旨及び特徴等についての十分な情報提供	19	サービスの開始前に、利用者等に本サービスが「利用者等の在宅生活の継続」と「心身の機能の維持回復」を実現するためのサービスであり、訪問サービスは、その趣旨に沿って行われるアセスメントに基づき提供されることについて、十分な情報提供・説明が行われている	7	5	0	0	事前訪問や契約の際には、十分な情報提供と説明を行っている。理解が出来ていない場合は、その都度の情報提供と説明を行っている。	9	5	0	0	<ul style="list-style-type: none"> 1回では理解できない利用者様やご家族様もいますので、各々の理解力に応じ、適宜再説明等が必要になると思います。十分な理解と納得が無いと、後々問題になる場合もあるので注意が必要です。 情報提供はきちんと行っていると思います。説明しても利用者の受け止め方が違う、いいように解釈してしまう。きちんと理解してもらうようにすることが必要。 継続してください。 その都度説明して行ってください。 難しいケースを抱えて苦労していると思うが、管理者がしっかりと説明し、それでも困難な際は包括にもつなげ正しいサービス提供を行っています。 共有と提案をされていると思うので継続していきましょう。

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				外部評価					
				実施状況				実施状況					
				できて いる	ほぼ できて いる	できて いない ことが多い	全く できて いない	できて いる	ほぼ できて いる	できて いない ことが多い	全く できて いない	外部コメント	
II 過程評価(Process)													
1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供													
(4) 利用者等との情報及び意識の共有													
②	利用者等との目標及び計画の共有と、適時適切な情報の提供	20	作成した計画の目標及びその内容について、利用者等に十分な説明を行うなど、共通の認識を得るための努力がされている	4	7	1	0	計画書作成し説明を行っている。理解が困難及び理解されていない場合は日々の援助の中でも説明を行うようにしている。	2	12	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・19番項目と同様。 ・「出来ない事が多い」が気にかかる。 ・継続していくことで、理解していくと思います。 ・外部から見えにくいかもしれませんが、ご利用者との間では出来ていると思います。 ・説明を行っても変わってくる場合もあると思うので、十分コミュニケーションを取っていきましょう。 ・日々の援助の中でも、説明する事は書く職員にとっても負担も大きいと思いますが、職員の統一したサービス理解にもなり、全体としてスキルも上がると思います。 ・言葉だけでは理解に難しいこともありますが、共通意識を得るために努力していきましょう。
		21	利用者の状況の変化や、それに伴うサービス提供の変化等について、家族等への適時・適切な報告・相談等が行われている	5	7	0	0	利用者の状況変化に伴うサービス提供状況は伝えている。急を要する際は事後報告になることも有るが、報告や相談は行っている。	3	11	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・19番項目と同様。 ・「出来ない事が多い」が気にかかる。 ・継続していくことで、理解していくと思います。 ・外部から見えにくいかもしれませんが、ご利用者との間では出来ていると思います。 ・細目に報告を行っていると思います。 ・状況変化等、迅速に報告できていると思います。
(1) 共同ケアマネジメントの実践													
①	利用者等の状況の変化についての、ケアマネジャーとの適切な情報共有及びケアプランへの積極的な提案	22	ケアマネジャーとの間で、利用者へのサービス提供状況、心身の機能の変化、周辺環境の変化等に係る情報が共有され、サービスの提供日時等が共同で決められている	4	8	0	0	モニタリングで状況報告を行っているが、急を要する場合はその都度 電話連ら悪を行い対応している。尚、必要時や状況に応じて随時訪問を行っている。	2	12	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・ケアマネとの連携がどれくらいおこなわれているのか、見えないのでわかりません。 ・継続してください。 ・ケアマネと連携がとれていると思う。 ・随時訪問は全体の中でも多いですか。 ・適宜、対応されていると思います。
		23	計画の目標達成のために、必要に応じて、ケアプランへの積極的な提案(地域内のフォーマル・インフォーマルサービスの活用等を含む)が行われている	3	8	1	0	担当者会議では情報共有できている。利用者の状況に合わせて必要と考えられる援助はプランに反映できるようにしている。	1	13	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・担当者会議以外での情報共有の在り方は？ ・具体的な提案はどのような物が教えてください。 ・今後も連絡を密にして対応していきましょう。 ・積極的に事業所から提案をして行くと良いと思います。 ・共有と提案が行えていると思います。

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				外部評価					
				実施状況				コメント	実施状況				外部コメント
				できている	ほぼできている	できていない ことが多い	全くできていない		できている	ほぼできている	できていない ことが多い	全くできていない	
II 過程評価(Process)													
2. 多職種連携に基づいた包括的・継続的マネジメント													
(1) 共同ケアマネジメントの実践													
②	定期的なアセスメント結果や目標の達成状況等に関する、多職種への積極的な情報提供	24	サービス担当者会議等の場を通じて、利用者等の状況や計画目標の達成状況について、多職種への情報提供が行われている	7	5	0	0	担当者会議に限らず多職種が参加するが美参加するようにしている。参加調整が難しい時は事前に情報提供をしている。 担当者会議は他事業所や多職種との情報交換が出来る場でもあり、繋がりがご持てると感じる。	7	7	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ヘルパーさんが生活介護の中心を担い、サービスの要となっており、又、どの職種よりも利用者様と多くかかわっているため、一番情報を持っている。担当者会議でのヘルパーさんの積極的な情報提供がケアプランに大きく反映されると思います。 それぞれでの立場での意見をしっかりと伝えるための取り組みが出来ていると思います。 出来るだけ参加し情報共有してください。 タブレットも使用しながら、きちんと情報提供できている。 共有と提案が行えていると思います。
(2) 多職種連携を通じた包括的・継続的マネジメントへの貢献													
①	利用者の在宅生活の継続に必要な、利用者等に対する包括的なサポートについて、多職種による検討	25	利用者の在宅生活の継続に必要な、包括的なサポート(保険外サービス、インフォーマルケア等の活用を含む)について、必要に応じて多職種による検討が行われている(※任意評価項目)	4	6	2	0	担当者会議や退院前カンファレンスを行うことで、情報共有や検討がされている。 尚、必要時にケアマネに提案をしている。	3	11	0	0	<ul style="list-style-type: none"> 担当者会議や退院前カンファレンスだけでなく、日常的にも変化のある際には毛zマネに報告をし、適切なサービス提供が出来るようつとめてください。 ケアマネを中心にカンファレンスなどおこない、適宜検討できていると思います。 共有と提案が憩妻えていると思います。
		26	病院・施設への入院・入所、及び病院・施設からの退院・退所の際などに、切れ目のない介護・看護サービスを提供するために、必要に応じて多職種による検討や情報の共有が行われている(※任意評価項目)	7	5	0	0	退院時カンファレンスに病院内の多職種の参加もあり、切れ目のないサービスが出来るよう、情報収集し検討されている。	8	6	0	0	<ul style="list-style-type: none"> 退院時カンファレンスは病院側も積極的に実施するようになっており、ご本人様、ご家族様が不安なく在宅生活に移行できるようになっています。 ケアマネを中心にカンファレンスなどおこない、適宜検討できていると思います。 共有と提案が行えていると思います。

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				外部評価				
				実施状況				実施状況				
				できて いる	ほぼ できて いる	できて いない ことが多い	全く できて いない	できて いる	ほぼ できて いる	できて いない ことが多い	全く できて いない	
コメント				外部コメント								
II 過程評価(Process)												
2. 多職種連携に基づいた包括的・継続的マネジメント												
(2) 多職種連携を通じた包括的・継続的マネジメントへの貢献												
②	多職種による効果的な役割分担及び連携に係る検討と、必要に応じた関係者等への積極的な提案	27	地域における利用者の在宅生活の継続に必要な、包括的なサポート体制を構築するため、多職種による効果的な役割分担や連携方策等について検討し、共有がされている <u>(※任意評価項目)</u>	2	5	0	0	3	11	0	0	・フェニックスが利用できない事業所等ともしっかり連携できるよう工夫をしてください。 ・ICTの活用により情報が共有できていると思います。 ・共有と提案はされていると思います。
3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画												
(1) 地域への積極的な情報発信及び提案												
①	介護・医療連携推進会議の記録や、サービスの概要及び効果等の、地域に向けた積極的な情報の発信	28	介護・医療連携推進会議の記録について、誰でも見ることのできるような方法での情報発信が、迅速に行われている	4	4	2	0	4	10	0	0	・出来ていないと自己評価した職員もおり、自由閲覧だけでは目標達成の具体策にならないと思います。 ・「出来ていないことが多い」が2名いるが、理由を評価をされると良いと思います。 ・なかなか会議に参加できなくてすみません。書類には目を通してあります。 ・職員全員が目を通すと、より自分たちの役割も見えてくると思います。 ・当事業所も苦慮していますが、今後、情報発信をどのようにしていくか検討しましょう。
		29	当該サービスの概要や効果等についての、地域における正しい理解を広めるため、積極的な広報周知が行われている	1	9	2	0	2	12	0	0	・地域啓発、広報活動の実際をもう少し詳しく知りたいです。 ・なかなかサービスの理解不足がある実情がわかりました。広報は大変だと思いますが、地道に続けていけると良いと思います。 ・広報活動、周知活動されていてよいと思います。 ・まちのねの他に広報誌の活用はありますか。 ・活動継続してください。 ・まだまだ新しいケアマネージャーの中にはよく知らない方の多いです。もっとアピールできるといいですね。 ・どのように広報活動をされているのか。まちのねの様子等を知りたい。 ・センターに来る人は限られているので、外に発信していく形が良いと思います。 ・広報活動を通して地域から問い合わせやかかわり方など、展開があったか知りたいです。

タイトル番号	タイトル	項目番号	項目	自己評価				外部評価					
				実施状況				コメント	実施状況				外部コメント
				できている	ほぼできている	できていないことが多い	できていない		全くとできていない	できている	ほぼできている	できていない	
II 過程評価(Process)													
3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画													
(2) 地域包括ケアシステムの構築に向けての、まちづくりへの参画													
①	行政の地域包括ケアシステム構築に係る方針や計画の理解	30	行政が介護保険事業計画等で掲げている、地域包括ケアシステムの構築方針や計画の内容等について十分に理解している	0	7	3	0	大まかな理解にとどまっている。新しい情報があれば、資料を確認して理解に努めている。	0	13	1	0	<ul style="list-style-type: none"> 行政の地域包括ケアシステム構築に係る方針や計画に関する情報をどのように収集しているのでしょうか。 継続し理解に努めてください。 情報を収集する努力をされていると思います。 評価が低い方が多く、認識自体を全体に周知するのは難しいと思います。どうやったら理解していけるか考えていきましょう。
②	サービス提供における、地域への展開	31	サービスの提供エリアについて、特定の建物等に限定せず、地域へ広く展開していくことが志向されている	1	9	1	0	エリア内に限定せず、広く展開されている。	3	11	0	0	<ul style="list-style-type: none"> しっかりと地域への展開を行っていると思う。 在宅生活をこのサービスでと思っている方にとって、ありがたい事と思います。
③	安心して暮らせるまちづくりに向けた、積極的な課題提起、改善策の提案等	32	当該サービスの提供等を通じて得た情報や知見、多様な関係者とのネットワーク等を活用し、介護・看護の観点から、まちづくりに係る問題認識を広い関係者間で共有し、必要に応じて具体的な課題提起、改善策の提案等(保険外サービスやインフォーマルサービスの開発・活用等)が行われている (※任意評価項目)	0	6	0	0	フェニックスネットは有効活用されており、情報共有に大いに活用されている。すべてのサービス機関がネットワークに参加することが、更なるサービスの質の向上につながると思われる。保険外のサービスがある事によって在宅生活が出来ており助かっている。	0	14	0	0	<ul style="list-style-type: none"> 保険外サービスの理解と情報提供は出来ているのでしょうか。 「まちづくり」に向けた活動というテーマが大きな感じがしますが、どのようなことをされているのか評価されると良いと思います。 評価が難しいです。 フェニックスネットの拡大には、事業所の有効活用方法をもっとサービス機関に発信していくと良いと思います。 保険以外のサービスは主に何を利用されているのでしょうか。 安心して暮らせるまちづくりのために、情報だけではなく問題や課題など提起してもらおうと、情報共有し今後の地域発展の取り組みの参考にしたいです。

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				外部評価					
				実施状況				コメント	実施状況				外部コメント
				できている	ほぼできている	できていない ことが多い	全くできていない		できている	ほぼできている	できていない ことが多い	全くできていない	
Ⅲ 結果評価(Outcome)													
①	サービス導入後の利用者の変化	33	サービスの導入により、利用者ごとの計画目標の達成が図られている	3	9	0	0	計画に沿った援助を行う中で、利用者が安心して在宅生活を過ごせるよう、日々の状態確認と目標達成に向けて援助している。	6	8	0	0	<ul style="list-style-type: none"> サービス導入時だけでなく、状態変化時も迅速に計画変更を行ってください。 サービスの利用で利用者や家族が安定した生活になっているのは実感できます。 今後も在宅生活を送れるように、目標達成に向けて行ってください。 引き続き目標が達成できるようにきめ細かいサービスの提供をして行きましょう。
②	在宅生活の継続に対する安心感	34	サービスの導入により、利用者等において、在宅生活の継続に対する安心感が得られている	7	5	0	0	<p>昼夜問わず訪問できる事及び状況に合わせ複数回訪問できる事が、利用者や家族にとって安心につながっている。</p> <p>独居の利用者からは「このサービスがあるから自宅で安心して生活できる」との言葉が聞かれている。</p>	10	4	0	0	<ul style="list-style-type: none"> 定期随時があるから生活できているというご利用者様が多くいらっしゃいます。今後も啓発活動に努めていってください。 いつでも相談や訪問が受けられることで利用者の安心感が得られていると思います。 ご利用者が安心して生活できていることが伺えます。お互い大変と思いますが、協力し合って行ければと思います。 安心感は強いです。利用者、家族だけでなく関わるサービスとしても安心できます。 独居の方や老々介護の方など、とても心強いサービスだと思います。苦労も多いと思いますが、とても安心につながっていると思います。 今後も継続してください。 継続して、安心して利用していただけるサービスを提供してください。 利用者、家族の声が一番。事業所にとっては活力になると思います。この仕事をやりがいと思い、これからも多くの方に感謝される事業所づくりを進めてください。 家族との良好な関係が評価されていると思います。